

朝礼時に行う健康KY

林業は朝早い仕事です。だからこそ朝礼時に確認、注意すべき点があります。事故も起きてからでは遅い。朝礼で役立つ健康チェックを紹介します。

○朝礼時の健康観察5項目(健康KY)

- 1、姿勢(シャンと背筋は伸びているか)
- 2、動作(ダラダラしていないか)
- 3、顔つき(表情が生き生きしているか)
- 4、目の色(血走っていないか)
- 5、会話(声の張りがあるか)

○健康問いかけ10項目

- 1、よく眠れたか
- 2、朝食は食べたか
- 3、熱はないか
- 4、腹具合はどうか
- 5、吐き気はないか
- 6、立ちくらみやめまいはないか
- 7、いつもの薬は飲んだか
- 8、医者に行ったか
- 9、心配事はないか
- 10、血圧に異常はないか

作業の確認、ヒヤリハット、道具・機械の点検などありますが、全て人が行うことで成り立っています。作業員一人一人の健康面と精神面を皆で把握する事で、作業効率や、現場の雰囲気作りにも繋がります。気に掛けること、理解してあげること、助けてあげて心掛けていきましょう。

林業の大切さ

「あなたが使っている水はどこから来たの?」と聞かれて何人の人が正確に答えられるでしょうか。「山や森林」と答える人はまれでしょう。それ程日本人にとって「水や空気」の綺麗さは当たり前のものであって、水道をひねればすぐに飲める水が出ているのです。

一度は飲んだことのある湧き水。長い間雨が降らなくても森林から途切れなく湧き出してくるのを不思議に思ったことはありませんか。地上にある全ての水の元は、雨。

森林はこの雨を葉などで優しく受け止め、地面を傷めることなく樹木と大地で相当量の水を蓄えながら、湧き水として地上にしみ出させています。このように、水の出をコントロールしてくれる働きが、“緑のダム”と呼ばれるような森林の機能の1つです。

作業中に行われる木の伐採。この作業にも大切な意味があります。若い森林は、沢山の二酸化炭素を吸収し、酸素を出して成長します。ピークを過ぎた老木は、二酸化炭素吸収速度が小さくなり、蓄積量があまり増えません。なのでそれらの木を伐採し、木材として利用、再び植林することで、大気中の二酸化炭素を積極的に吸収・固定できます。その他にも、土砂が流出したり、崩れるのを防ぐ働きがあります。私達先祖が大切に守り、森林を減らさないように努めてきたのです。だからこそ、林業の大切さと、それを担う人達を絶やしてはいけません。

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

今月の一言
知れば知るほど、
必要なものはなくなる

労働災害事例

チェーンソーによる、伐木造材作業における形態別発生件数は、自己伐倒の件数が大幅に減少したが、ゼロではない。これからまだまだ注意しないといけない。

項目	平成29年		平成30年	
	件数	割合	件数	割合(%)
自己伐倒	24	80.0	13	72.2
他人伐倒	3	10.0	3	16.7
造材作業	2	6.7	2	11.1
その他	1	3.3	0	0
計	30	100.0	18	100.0